



# まほろばの丘から



令和4年12月1日 文責 校長 江口 尋信

## 全教員授業研修会での子どもたちの姿

11月11日（金）、文部科学省の学力調査官である稲垣先生を講師としてお招きし、「太宰府市小学校全教員授業研修会」を開催しました。この研修会は、太宰府市内の小学校の先生方に、本校の職員がチャレンジタイムと算数の授業を公開し、学力向上のあり方を協議するものです。市内から200人近くの先生方が来校し、子どもたちの学習の様子を熱心に参観されました。研修会後の、他校の先生方の感想を紹介します。



計算の仕方を説明し合う1年生

- 子どもたちの計算の速さと量が自校とは違い、大変驚いた。日頃からの取組の様子を垣間見ることができた。
- 子どもたちの声、スピード、素晴らしかった。見習いたい。
- 子どもたちがとても落ち着いて、意欲的に授業に取り組む姿が素晴らしいと思った。
- 伝え合う力がついていて素晴らしかった。自分の書いた説明を読むのではなく、図を使いながら説明していた。また、子どもたちがびっしりノートに考えを書いていた。書く力、説明力ともに育っているなど感じた。

子どもたちの学習の様子をたくさん褒めていただきました。子どもたちがそれぞれの可能性をしっかりと伸ばできるように、学力向上の取り組みを継続していきたいと思えます。

## 愛校作業、ありがとうございました。

11月26日（土）、愛校作業を行いました。当日は、100名近い保護者の方に参加していただきました。子どもたちは、何よりも保護者の方といっしょに活動できることが嬉しそうでした。



「校長先生、こんなに草を取ったよ。」「落ち葉で袋がいっぱいになりました。」と嬉しそうに作業の成果を見せてくれる子どもたちに、思わずわたしの顔もほころびます。机に座って学習する「座学」ももちろん大切なのですが、こういった体験活動も、子どもたちの情緒や経験を豊かにしていく上で大切だと改めて感じました。保護者の皆さん、ありがとうございました。

保護者といっしょに愛校作業に取り組む子どもたち

## 子どもたちの自尊感情、自己肯定感を高める「感謝の気持ち」

著名な心理学者の受け売りですが、「感謝の気持ち」をもつ、あるいは、「感謝の気持ち」を向けられることで、ひとの自尊感情や自己肯定感は高まっていくのだそうです。簡単に言えば、子どもたちが「ありがとう」を言うこと、子どもたちに「ありがとう」を言うことは、子どもたちの心に大きな安定感を生み出すということです。ご家庭では「ありがとう」が飛び交っていますでしょうか。わたしも心がけていきたいと思えます。